

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>1 安心で希望に満ちた暮らしの創造</p> <p>【施策1】家族や地域の強い絆が息づく地域づくり</p> <p>施策1 - 家族や地域の絆が息づくコミュニティの創造</p>	312,000	258,638	<p>1 南阿蘇村立野地区地域再生等支援事業（H28は事業名なし） 避難所に県職員を常駐派遣しながら空調を整備するなど避難所の環境改善に努めた。 また、住民説明会を開催しインフラや崩壊斜面の復旧見通し・復旧状況を説明するとともに、住民の生活再建に向けた意向確認を行うためのアンケートを実施した。 さらに、立野地区の具体的な生活再建に向けて住民自らが主体的に話し合う場として、「復旧復興立野地区勉強会」を住民の代表により発足させた。</p> <p>2 地域づくりチャレンジ推進事業 熊本市の政令市移行後を見据えて策定した「政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像（H23.12）」に沿って、市町村や地域住民等が地域を元気にするために自主的に行う地域づくりの取組み及び複数市町村等が連携・協働する広域的な取組みに対し、総合的な支援を実施した。</p> <p>(1) 市町村や住民の自主的な地域づくりに対する支援 補助件数59件、補助額105,677千円の支援を行った。 移住の促進分野 ・山鹿市の空き家バンク作成のための空き家調査の実施等 起業の誘発分野 ・八代市における川遊び体験集客メニューの開発とインストラクター養成等 交流の拡大分野 ・宇城市の三角西港をテーマにドローンを活用した撮影大会の開催等 絆の構築分野 ・湯前町のICTを活用した独居高齢者の見守りサービスの構築 など</p> <p>(2) 複数の市町村等が連携・協働する広域的な地域づくりに対する支援 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」登録を契機とした、荒尾市・宇城市と福岡が県境を越えて連携して実施した広域観光の取組み、人吉・球磨の10市町村が連携して取り組む着地型観光商品の磨き上げなどに16件、58,038千円の補助を行うなど、積極的に広域連携の取組みについて支援を行った。</p> <p>(3) 県が行うアドバイザー派遣、地域づくりへの支援 県内の地域資源の掘り起こしや人材育成のほか、個別の地域における、住民を交えた地域づくりワークショップ、地域の課題に応じたアドバイザーの派遣など、次年度以降の地域づ</p>	計画調査費のうち P138～P139

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策1 - 家族や地域の絆が息づくコミュニティの創造)			<p>くりの後押しとなるような事業を実施した。 (掘り起こし支援11件、アドバイザー派遣2件)</p> <p>3 集落サポートプロジェクト事業 過疎集落等を対象に、日常生活支援など、地域の実情に応じた「小さな拠点」形成や集落の維持・活性化に資する取組みを市町村に提案してもらい、県がモデル事業として市町村に委託する事業で、八代市、阿蘇市、上天草市の3市に委託して事業実施した。 八代市 グループタクシーの試験運行、同運行スキーム策定等 阿蘇市 移動販売車を使った買い物支援の実証実験、新商品開発等 上天草市 移動販売車を使った買い物支援の実証実験、高齢者サロンの開設等</p>	
<p>2 未来へつなぐ資産の創造 【施策4】災害に負けない基盤づくり 施策4 - 地域を支える公共交通網の復旧・整備</p>	600,708	597,325	<p>1 地方公共交通対策事業 (1) 地方バス路線の維持 広域的・基幹的なバス路線を運行するバス事業者に対して補助金を交付した。また、路線バス等の維持やコミュニティバス、乗合タクシーの導入等、地域の実情に応じた取組みを支援するため市町村へ交付金を交付し、地域において必要な生活交通路線を維持した。 (2) 生活航路維持緊急支援事業 県内離島等の生活航路に対して運航支援を行う市町へ補助金を交付し、生活航路の維持を図った。 (3) 南阿蘇鉄道の全線復旧に向けた取組み 南阿蘇鉄道の復旧に係る財政措置の支援を国に要望し、国の調査に必要な関係機関との調整を実施した。</p> <p>2 益城テクノ団地生活交通支援事業 益城町テクノ仮設団地入居者が町中心部までの移動に利用する路線バスの運賃を負担し、被災者の生活を支援した。</p> <p>3 並行在来線対策事業 肥薩おれんじ鉄道が行う鉄道基盤施設の整備・維持に係る費用を補助し、安全かつ安定的な運行を確保するとともに、観光列車の利用促進等の誘客対策を支援し、沿線地域の交流人口拡大を促進した。</p>	<p>計画調査費のうち P138～P139</p>

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名																														
(施策4 - 地域を支える公共交通網の復旧・整備)			<p>【肥薩おれんじ鉄道利用人員の推移】</p> <table border="1" data-bbox="896 311 1890 486"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用人員</td> <td>1,367千人</td> <td>1,390千人</td> <td>1,304千人</td> <td>1,243千人</td> <td>1,184千人</td> </tr> <tr> <td>定期外</td> <td>294千人</td> <td>316千人</td> <td>299千人</td> <td>309千人</td> <td>260千人</td> </tr> <tr> <td>通学定期</td> <td>971千人</td> <td>970千人</td> <td>894千人</td> <td>833千人</td> <td>822千人</td> </tr> <tr> <td>通勤定期</td> <td>102千人</td> <td>104千人</td> <td>111千人</td> <td>100千人</td> <td>102千人</td> </tr> </tbody> </table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	利用人員	1,367千人	1,390千人	1,304千人	1,243千人	1,184千人	定期外	294千人	316千人	299千人	309千人	260千人	通学定期	971千人	970千人	894千人	833千人	822千人	通勤定期	102千人	104千人	111千人	100千人	102千人	
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度																													
利用人員	1,367千人	1,390千人	1,304千人	1,243千人	1,184千人																													
定期外	294千人	316千人	299千人	309千人	260千人																													
通学定期	971千人	970千人	894千人	833千人	822千人																													
通勤定期	102千人	104千人	111千人	100千人	102千人																													
<p>【施策5】地域の特性を活かした拠点・まち・観光地域づくり</p> <p>施策5 - 熊本都市圏東部地域等における復興のまちづくり</p>	132,858	132,773	<p>1 阿蘇くまもと空港国際線振興対策事業(再掲)(P23)に記載</p> <p>2 阿蘇くまもと空港復興検討・推進事業(再掲)(P24)に記載</p>	計画調査費のうち P138～P139																														
<p>施策5 - 地域資源を活かした観光地域づくり</p>	397,500	353,049	<p>1 地域づくりチャレンジ推進事業(再掲)(P13)に記載</p> <p>2 人吉球磨観光地域づくり加速化事業 ICT(情報通信技術)を活用した誘客促進と受入れ体制の整備を行うとともに、地域資源の掘り起こし、多様な事業者間のネットワーク化を通して、交流人口拡大のための地域ビジネスの仕組みを構築した。</p> <p>3 くまもと県南広域観光連携事業(スクラムチャレンジ) 以下の事業を行った。</p> <p>(1) 食と観光資源の整理と誘客ターゲットごとの観光ルートの作成 ・県南15市町村に存在する観光資源の種別毎の整理 ・テーマに沿った魅力的かつ新しい観光ルートの作成</p> <p>(2) 食・観光関係者等への連携商品PR ・国内外のメディア・旅行会社を対象としたモニターツアー実施 ・広域観光パンフレット及びPR動画作成</p> <p>(3) その他ファン獲得に向けた取組み ・SNS、メディア等での情報発信、各種イベント、旅行博等への合同出展</p> <p>4 「いぐさ」産地再生プロジェクト 以下の事業を行った。</p> <p>(1) 顧客の視点に立ったフードバレー地域産品開発 ・マーケットインによる商品開発に向けた市場調査</p> <p>(2) 食・観光関係者等への連携商品PR ・代表産品である「い草」を活用した情報発信(和文化の活用)</p>	計画調査費のうち P138～P139																														

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>(施策5 - 地域資源を活かした観光地域づくり)</p>			<p>5 VISITあまくさ・しまばらプロジェクト推進事業 以下の事業を行った。</p> <p>(1) 天草Dream Yearプロモーション ・天草版DMOに期待される観光情報等の一体的・戦略的な発信の先駆けとして、様々な記念イベント等が開催される平成28年を「天草Dream Year」とし、各市町で開催される記念イベント等と地域の観光・物産コンテンツ(新たな体験型ツーリズムを含む)の情報を天草地域観光推進協議会に集約し、年間を通じた誘客プログラムとして九州管内を中心に情報発信を行った。</p> <p>(2) パブリシティ支援事業 ・首都圏・関西・福岡等の新聞・雑誌・出版社等のメディアからの取材打診や取材協力依頼に対し、財政的な支援及びきめ細やかなサポートを実施し、パブリシティ獲得による露出を図った。</p> <p>(3) 世界文化遺産とオルレを活用した東アジアからの誘客と受入環境整備 ・韓国の雑誌社、旅行社、インフルエンサーを天草に招聘するファムツアーを実施。ツアー後は雑誌掲載、旅行商品造成、ブログでの発信等につながり、天草の魅力発信及び誘客促進を図った。 ・国内在住の東アジアの外国人を中心とした天草ツアーを実施。参加者にはSNSで天草の発信を行ってもらい、天草の認知度向上、誘客促進を図った。</p> <p>(4) 福岡・鹿児島及び首都圏等からのアクセスルート定着化 ・平成27年度事業で開発したアクセスルート等を活用し、天草・島原半島地域を航路で繋いだ旅行商品を造成し、旅行商品が広く広告されることによる広域観光アクセスルートの定着化を図った。</p> <p>(5) 阿蘇くまもと空港からのアクセス強化 ・首都圏及び関西等から、阿蘇くまもと空港を利用して天草地域を訪問する観光客に対して、バスを利用したアクセスルートのPRを行うとともに、観光客の利便性を向上させるサービスを付加し、誘客促進を図った。</p> <p>(6) 天草陶磁器等の高付加価値化と販路拡大 ・天草地域に注目が集まり、交流人口が拡大する機会を活かして、天草陶磁器が贈答品やお土産として広く取り扱われるよう、大都市圏と天草地域のそれぞれの地域における販路拡大と、外部のクリエイティブな視点を取り入れた新たな商品開発に取り組むことにより、天草陶磁器のブランド価値の向上を図った。</p>	

(企画振興部)

(単位:千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
施策5 - 地域力を高める広域連携の推進	397,500	353,049	1 地域づくりチャレンジ推進事業(再掲)(P13)に記載 2 人吉球磨観光地域づくり加速化事業(再掲)(P15)に記載 3 くまもと県南広域観光連携事業(スクラムチャレンジ)(再掲)(P15)に記載 4 「いぐさ」産地再生プロジェクト(再掲)(P15)に記載 5 VISITあまくさ・しまばらプロジェクト推進事業(再掲)(P16)に記載	計画調査費のうち P138~P139
施策5 - 人口のダム効果を活かした地域づくり	588,370	587,434	1 地方公共交通対策事業(再掲)(P14)に記載 2 並行在来線対策事業(再掲)(P14)に記載	計画調査費のうち P138~P139
施策5 - 持続可能な地域づくり	312,000	258,638	1 地域づくりチャレンジ推進事業(再掲)(P13)に記載 2 集落サポートプロジェクト事業(再掲)(P14)に記載	計画調査費のうち P138~P139
施策5 - 移住・定住の促進	295,000	252,304	1 地域づくりチャレンジ推進事業(再掲)(P13)に記載 2 くまもと暮らし安心・移住促進事業 くまもとの「暮らし安心」を首都圏でPRし、移住者の掘り起しや本県への現役世代及び高齢者等の移住定住につなげるため、モデル市町村と連携し、移住相談会等を実施した。 ・移住相談会の実施 ・熊本県移住・定住ポータルサイト内での情報発信 ・移住希望者を対象とした移住体験ツアーの実施	計画調査費のうち P138~P139
【施策6】くまもとの誇りの回復と宝の継承 施策6 - 熊本城をはじめとした歴史・文化の再生・継承	68,132	56,274	1 「加藤・細川ヘリテージ(遺産)」プロジェクト事業 「加藤・細川400年の歴史と文化」をはじめとした、熊本の歴史・文化の継承、活用等による品格あるくまもとづくりに向け、以下の事業を実施した。 ・「くまもと歴町50選」に係る町並み活性化の推進 選定地区に対する町並みの保全や歴史的建造物の修繕等に対する補助を実施(4件) 2 世界文化遺産登録推進事業 本県の3つの資産について、世界文化遺産への登録及び登録後の適切な維持・保全を目指した取り組みを実施した。 (1) 明治日本の産業革命遺産推進事業(万田坑・三角西港) ・関係県市において、地方創生交付金を活用した情報発信のためのスマホアプリを開発 ・関係市が策定する資産整備活用計画への支援 (2) 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産推進事業(天草の崎津集落) ・「天草」を含む資産名称に変更し、再度の国推薦獲得及びユネスコへの推薦書を提出	計画調査費のうち P138~P139

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>(施策6 - 熊本城をはじめとした歴史・文化の再生・継承)</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会の開催やガイドブックの刊行など、周知啓発等にも取り組み、登録に向けた機運醸成を実施</li> <li>(3) 阿蘇世界文化遺産登録推進事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇都市7市町村による「阿蘇の文化的景観」の国重要文化的景観選定を申出</li> <li>・阿蘇市・南阿蘇村が行う米塚及び草千里ヶ浜の保存管理計画策定に対する支援を実施</li> </ul> </li> <li>3 「くまもと手仕事ごよみ」推進事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>熊本の「手仕事」(伝統の工芸、食、芸能等)を、暦と結び付けて後世に継承する取組みを実施した。</li> <li>(1) ホームページ及びフェイスブックの運営                   <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページや一般県民が参加するフェイスブックを運営し、地域の旬の情報を発信した。</li> <li>・ホームページアクセス数 165,839人(平成28年4月1日～平成29年3月31日)</li> <li>・フェイスブックフォロワー数 2,204人(平成28年4月1日～平成29年3月31日)</li> </ul> </li> <li>(2) 広報                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・コラム・特集記事の取材及びHP掲載</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>4 プロジェクトSOSEKI               <ul style="list-style-type: none"> <li>「漱石生誕150周年」及び「漱石来熊120周年」の記念年に、「熊本の漱石」を県内外に印象付け、県民の誇りや郷土愛の醸成を図り、熊本の文化と磨き上げと継承を目指すとともに、熊本の新たなブランドとしての浸透を図る目的で以下の事業を実施した。</li> <li>(1) 漱石記念年全国オープニング式典の開催                   <ul style="list-style-type: none"> <li>夏目漱石記念年100人委員会や全国の漱石顕彰団体等と共催で、記念年のオープニング式典を5月14日に開催。(県内外からの来場者数 約400名)</li> </ul> </li> <li>(2) 来訪者向けキャンペーンの実施                   <ul style="list-style-type: none"> <li>県内外の多くの方に「熊本の漱石」を印象付け、定着化を図った。</li> <li>・夏目漱石とくまモンを使ったラッピング高速バス2台を福岡～熊本間運行(4か月間)</li> <li>・博多駅や熊本駅でのデジタルポスター掲示(1か月間)</li> <li>・紀伊國屋書店新宿本店での特設コーナー設置(14日間)</li> </ul> </li> <li>(3) 県民向けトークイベントの開催                   <ul style="list-style-type: none"> <li>「熊本の漱石」について県民の認識を向上のため、若年層やファミリー層を対象にした「SOSEKI俳句フェス」を開催。(来場者数 約250名)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>5 県立劇場管理運営事業(ア トキャラバンくまもと事業)               <ul style="list-style-type: none"> <li>県立劇場が有するネットワークを活用して、音楽や演劇などの文化芸術を小・中・高等学校</li> </ul> </li> </ul>	

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策6 - 熊本城をはじめとした歴史・文化の再生・継承)			<p>等に届けるなど、熊本地震からのこころの復興に繋がる取組みを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 益城町、御船町、南阿蘇村、熊本市 ほか県内各地</li> <li>・実施回数 146回</li> <li>・参加人数 17,569人</li> </ul>	
<p>施策6 - 阿蘇の草原など自然・景観の再生・継承</p>	28,950	28,108	<p>1 阿蘇草原再生事業 阿蘇草原の次世代への継承を目指し、草原の担い手の裾野拡大や放棄地の野焼き再開等を実施した。</p> <p>(1) 多様な支え手の拡充 「あそ草原再生ビジョン」に基づき、野焼き・輪地切りと草原を体感できる食や散策等をパッケージにしたバスツアー（177名参加）を支援。自衛隊OBの参画等を得て、草原管理の難易度に応じたボランティア約280名を確保。併せて、野焼き後継者約100名の育成を図った。</p> <p>(2) 野焼き再開支援 平成27年度に約半世紀ぶりに野焼きを再開（30ha）した草千里では、前年度に引き続き、平成29年2月、熊本地震からの復興の狼煙として草千里の野焼きを実施。その他、高森町小倉原牧野、阿蘇市西湯浦牧野など、60haで野焼きの再開支援・再開後のフォローアップを行った。</p> <p>2 阿蘇草原保全・活用事業 野焼き実施における安全性の確保支援や、平成28年熊本地震を踏まえた草原再生の支え手の掘り起こしと観光客の呼び戻しに向けた取組みに対する支援等を実施した。</p> <p>(1) 草原保全に向けた環境整備 野焼き実施時の地元牧野組合員等の事故発生を未然に防ぐため、安全管理研修を実施（32牧野組合が参加）するとともに、難燃性活動服等の安全装備品の整備に対する支援を実施。また、震災後の状況把握と牧野、野焼き面積等の現況を把握するため阿蘇草原維持再生基礎調査を実施した。</p> <p>(2) 新たな草原の支え手創出 観光客の呼び戻しによる草原再生の支え手創出を目的に、阿蘇地域の宿泊施設と連携した滞在型プログラムとして野焼き見学ツアーを実証的に実施（60名参加）するとともに、地震被害の少ないトレッキングコースを活用したアウトドア体験イベント（237名参加）の実施を支援。</p>	<p>計画調査費のうち P138～P139</p>

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>施策6 - スポーツを通じた熊本の誇りの継承と発信</p>	<p>8,573</p>	<p>8,572</p>	<p>1 ロアッソ熊本支援 県民運動推進事業                      ロアッソ熊本と連携し地域の活性化及びスポーツ振興に取り組み、子どもからお年寄りまで、県民が地域でスポーツを楽しむ環境づくりを推進した。                      (1) 県民運動推進本部事業                      平成21年2月に官民連携により設立された「ロアッソ熊本を」1へ」県民運動推進本部に対する負担金の支出を行い、次のような地域振興・街づくり事業を実施した。                      地域交流事業                      ホームゲーム開催時、会場において県内市町村と連携し地域物産展の開催を支援。                      また、市町村等が行う地域イベントに選手等を派遣。                      応援気運醸成事業                      ロアッソ熊本への応援の気運を盛り上げるため、看板・フラッグを作成し、ホームゲーム試合会場周辺や駕町通り商店街、サンロード新市街アーケード等県内商店街に掲出。                      広報事業                      ポスター・カレンダー配布や、九州内チーム対戦時にスタンプラリー等の広報イベントを実施。                      サポーター等連携事業                      支援の輪の拡充を図るためサポーター等と連携し、応援マガジン「K'move」(2万部/回)を発行するとともに、県民との交流事業(選手参加によるイベント「ロアッソ熊本大忘望年祭り」)を実施。                      (2) サッカー普及振興事業                      県内におけるサッカーの普及、県民のサッカー技術の向上、子どもたちの夢づくりを促進するために、サッカー教室や交流事業(講演会、座談会、勉強会)を実施した。</p>	<p>計画調査費のうち P139</p>
<p>3 次代を担う力強い地域産業の創造                      【施策9】自然共生型産業を核としたオープンイノベーション機能の確立                      施策9 - 復興の原動力となる新たな事業の創出と起業の促進</p>	<p>92,754</p>	<p>86,189</p>	<p>1 次世代ベンチャー創出支援事業及び新ビジネス創出支援システム構築事業(H28経済対策分)                      県、肥後銀行、熊本大学、熊本県工業連合会、(株)リバネスの5者で構成するコンソーシアムによる創業支援プログラム「熊本テックプランター」を運営・展開し、発掘したベンチャーの研究開発等を促進するため事業化可能性調査を実施した。                      2 ふるさと投資応援事業                      ふるさと投資の周知・普及や、被災中小企業者10件のふるさと投資活用に係る事業計画作成支援等を実施した。</p>	<p>計画調査費のうち P138～P139</p>



## (企画振興部)

(単位:千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策9 - 復興の原動力となる新たな事業の創出と起業の促進施策)			<p>3 水俣・芦北地域産業振興等推進事業</p> <p>水俣・芦北地域の有効求人倍率は、厳しい状況が続いており、平成28年7月に策定した第六次水俣・芦北地域振興計画においても、産業振興と雇用確保を最重要課題として位置づけている。この取組みを推進するため、平成22年12月に県、地元市町、経済団体等で「水俣・芦北地域雇用創造協議会」を設立し、県職員と地元市町からの専従職員による事務局を設置し、以下の事業を実施している。</p> <p>環境省の補助事業や、県単独の負担金等を活用しながら、「食と農」分野の事業者支援、農商工建の連携や交流人口の拡大(ツーリズム)により、雇用創造に取り組んだ。</p> <p>(1) 地域企業等事業拡大支援 ・食品関連の展示商談会(44社) 都市圏物産への出展</p> <p>(2) 農建連携(建設業の農業参入等)による地域雇用確保 ・無肥料無農薬アボカドの栽培支援等</p> <p>(3) 農商工連携(商品開発等)による地域雇用創出 ・マガキの試験養殖、和紅茶や水産資源のブランディング支援等</p> <p>(4) ツーリズムに係る旅行商品開発 ・学習塾の合宿誘致の支援、まち歩き案内人の養成等</p>	
【施策10】地域資源を活かす観光産業の革新・成長 施策10 - 観光産業の革新と高付加価値化	52,450	52,170	<p>1 くまもと版DMO推進事業</p> <p>観光産業の再生・発展及び地域活性化を推進するため、観光地域づくりを広域的に担う株式会社くまもとDMCの設立・運営を支援した。</p>	計画調査費のうち P138～P139
施策10 - 観光資源の再生と新たな魅力の創造による観光振興	624,575	580,108	<p>1 地域づくりチャレンジ推進事業(再掲)(P13)に記載</p> <p>2 人吉球磨観光地域づくり加速化事業(再掲)(P15)に記載</p> <p>3 くまもと県南広域観光連携事業(スクラムチャレンジ)(再掲)(P15)に記載</p> <p>4 「いぐさ」産地再生プロジェクト(再掲)(P15)に記載</p> <p>5 VISITあまくさ・しまばらプロジェクト推進事業(再掲)(P16)に記載</p> <p>6 並行在来線対策事業(再掲)(P14)に記載</p> <p>7 ICT活用外国人観光客等受入環境整備事業</p> <p>ICTを活用した外国人観光客等の受入環境の充実を図るため、以下の事業を行った。</p> <p>(1) 熊本県無料公衆無線LAN「くまもとフリーWi-Fi」整備促進事業費補助金</p> <p>民間施設が設置する公衆無線LAN環境の整備に対する補助を実施し、駅やバスターミナル等8か所を整備した。</p>	計画調査費のうち P138～P139

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策10 - 観光資源の再生と新たな魅力の創造による観光振興)			(2) 熊本県プリペイドSIMカード普及促進事業費補助金 外国人観光客の携帯端末等で利用できるプリペイドSIMカードの普及促進を目的として自動販売機の設置等に対する補助を実施し、阿蘇くまもと空港等2か所での販売を開始した。	
【施策11】地域を支え次代を担う人材確保・育成 施策11 - 教育環境の再生・充実及び大学等の研究機能の活用	243,167	194,019	1 「環境首都」水俣・芦北地域創造事業 水俣病関連施設、環境に対する高い市民意識や蓄積された環境産業技術、美しい自然など地域の有形無形の環境資源を発展的に活用した「環境負荷を少なくしつつ、経済発展する新しい形の地域づくり」(「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法の救済措置の方針」平成22年4月閣議決定)を目指すため、環境省の補助事業を活用し、以下の事業を実施した。 (1) ゼロカーボン産業団地創出等事業(水俣市等) ・ななうら型「食と農」創造(販路拡大、アボガド実証栽培、和紅茶ブランディング、水産物のブランド化の支援等)、水俣環境アカデミアのオープン記念事業、研究活動の誘致等、生態系に配慮した渚造成に係る環境アセス等、うたせ漁師村整備(水産物等直売所整備)、環境配慮型農業の農林水産業の推進等 (2) 公共空間整備事業(水俣市等) ・湯の鶴温泉街交流拠点公園整備設計、水俣駅前広場周辺整備、赤崎小学校跡地利活用に伴う交流広場設計等 (3) 低炭素型観光推進事業(水俣市等) ・地域資源(薩摩街道、湯の児、エコパーク水俣)を活かした体験・交流型観光の推進、情報発信等、ミシュラン掲載に向けたガイド本作成等	計画調査費のうち P138～P139
施策11 - 復興を担う次世代の人材確保・育成	14,503	14,346	1 人材ネットワーク構築事業 以下の事業を実施した。 (1) 熊本人ネットワークの立ち上げ ・ネットワーク立ち上げ(県人会等への働きかけ、プロジェクト発表会・総会) ・熊本人ネットワーク交流会 (2) 人材ネットワーク構築事業 ・データベースシステム開発、ホームページ制作運用等	計画調査費のうち P138～P139

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名																								
(施策11 - 復興を担う次世代の人材確保・育成)			(3) 人材活用事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データベースの充実と熊本の情報発信を行う取組み(会報誌発行)</li> <li>・人材ネットワークを活用したキックオフイベント(U I J ターンのマッチング)</li> <li>・その他、ネットワークを活用した復興支援、県施策における企業等の連携促進</li> </ul>																									
4 世界とつながる新たな熊本の創造 <b>【施策12】</b> 空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化 施策12 - 『大空港構想Next Stage』に基づく阿蘇くまもと空港の復旧・機能拡充	176,825	173,335	1 阿蘇くまもと空港国際線振興対策事業 平成28年4月に発生した熊本地震により、国際線3路線を運航する各航空会社が当面の運休を決定したため、運航再開に向けた協議を実施した。 (1) 熊本～ソウル線 熊本地震により運休となり、平成28年度定期便利用者数は4月の1,303人とどまった。 ソウルの大手旅行社の企画により、阿蘇くまもと空港とソウルの仁川空港間の国際チャーター便(週2便での連続16往復のインバウンドチャーター、平成29年1～3月)が運航され、利用者数5,845人(利用率93.7%)と好調であった。 平成29年2月には知事のトップセールスを実施し、チャーター便を企画・運航したソウルの大手旅行社及びティーウェイ航空に対し熊本への送客のお礼とともに、アジアナ航空の子会社で日本地方路線を順次引き継いでいるエアソウルに対し定期便の運航再開について要望を行った。 その結果、平成29年4月には、ティーウェイ航空による定期便(週4便)の就航及びエアソウルによる国際チャーター便(週2便、平成29年4月～10月)の運航が決定した。 <b>【熊本～ソウル線定期便利用者数の推移】</b> <table border="1" data-bbox="913 1066 1861 1214"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本人</td> <td>11,292人</td> <td>8,059人</td> <td>5,779人</td> <td>4,987人</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>外国人</td> <td>15,978人</td> <td>23,315人</td> <td>25,949人</td> <td>29,269人</td> <td>1,219人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27,270人</td> <td>31,374人</td> <td>31,728人</td> <td>34,256人</td> <td>1,303人</td> </tr> </tbody> </table> 熊本～ソウル線は、平成15年9月就航 (2) 熊本～高雄線 平成27年10月25日に定期便が就航。 熊本地震により運休となったものの、熊本地震後の観光地や道路等の正確な情報をチャイナエアラインや高雄市政府、高雄旅行社等に映像(DVD)等で提供するとともに、台湾マスコミヤ旅行社を招聘した熊本視察ツアー等、熊本への誘客活動などの緊急対策を実施した		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	日本人	11,292人	8,059人	5,779人	4,987人	84人	外国人	15,978人	23,315人	25,949人	29,269人	1,219人	計	27,270人	31,374人	31,728人	34,256人	1,303人	計画調査費のうち P138～P139
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度																							
日本人	11,292人	8,059人	5,779人	4,987人	84人																							
外国人	15,978人	23,315人	25,949人	29,269人	1,219人																							
計	27,270人	31,374人	31,728人	34,256人	1,303人																							

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名												
<p>(施策12 - 『大空港構想Next Stage』に基づく阿蘇くまもと空港の復旧・機能拡充)</p>			<p>結果、平成28年6月3日から定期便の運航が再開された。</p> <p>また、平成29年1月には、台湾高雄市、熊本市、本県で従来から結んでいたMOU(国際交流促進覚書)を格上げし、新たに「友好交流都市協定」を締結して、様々な分野での交流拡大を確認した。</p> <p>(3) 熊本～香港線 平成27年12月14日から定期便が就航。 熊本地震によって運休となり、現在も運休が継続。定期便の早期再開に向け、平成29年3月に運航会社である香港航空に知事がトップセールスを実施。同社からは「定期便再開に向けた手続きを進めている」との回答を得たものの、現在も運航再開に向けた協議を継続している。</p> <p>2 インバウンドサービス向上事業 海外からの外国人観光客の受入れ環境整備のため、海外の旅行社から県内の宿泊施設、貸切バス、鉄道・船舶及び観光・娯楽施設並びに体験ツアーその他サービスの手配を請け負うインバウンドワンストップサービス窓口をモデル的に設置した。</p> <p>3 阿蘇くまもと空港復興検討・推進事業 熊本地震からの創造的復興の観点から、阿蘇くまもと空港の復旧・復興のあり方に関する調査・検討を行い、コンセッション方式の導入による国内線・国際線ターミナルビルの一体的整備及び耐震化等を目指す方針を決定し、早期実現に向けた取組みを実施した。</p> <p>4 総合交通体系整備推進事業 阿蘇くまもと空港へのアクセスを改善するため、肥後大津駅(愛称：阿蘇くまもと空港駅(平成29年3月4日～))と空港をつなぐ空港ライナーを無料で運行した。</p> <p>【参考：1日当りの利用者数】</p> <table border="1" data-bbox="943 1062 1845 1137"> <thead> <tr> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>116人</td> <td>138人</td> <td>171人</td> <td>210人</td> <td>257人</td> <td>230人</td> </tr> </tbody> </table>	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	116人	138人	171人	210人	257人	230人	
H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度											
116人	138人	171人	210人	257人	230人											
<p>【施策13】世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出 施策13 - 世界とつながる国際人材の育成・活躍支援</p>	2,454	1,331	<p>1 くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業 官民出資による世界チャレンジ支援基金を活用し、芸術家を目指す学生や若手芸術家6名に対し、海外でのコンクール参加や研修に係る渡航費用の支援を実施した。</p>	<p>計画調査費のうち P138～P139</p>												

(企画振興部)

(単位:千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
5 川辺川ダム問題・水俣病問題・TPPへの対応及び適切な行財政運営 (1) 川辺川ダム問題	1,005,312	798,453	1 川辺川ダム問題に係る総合調整 (1) 球磨川治水対策協議会 戦後最大の被害をもたらした昭和40年7月の洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とした治水対策を網羅的に検討し、国土交通省、熊本県及び流域市町村の間で共通の認識を得ることを目的として、平成27年3月に協議会を設置した。 平成28年度は「球磨川治水対策協議会」を3回開催。また、第2回「整備局長・知事・市町村長会議」を開催し、「球磨川治水対策協議会」の検討状況、「検討する場」で積み上げた対策の実施状況を説明した。会議では9つの治水対策案を単独で実施しても、目標とする洪水に対応することはできないとの認識を共有した。今後、市町村からの意見も踏まえ、複数の対策の組み合わせ案の検討を行っていくこととした。 (2) 球磨川水系防災・減災ソフト対策等補助金(県補助金 決算額154,527千円) 流域市町村の防災・減災ソフト対策に対する財政支援を行うこととし、その財源とするため、平成27年3月球磨川水系防災減災基金を設置した。 平成28年度は、流域市町村が地域の実情に応じて実施する予防的避難、ハザードマップ作成、内水対策など66事業に対して支援を行った。 2 五木村の振興 (1) ふるさと五木村づくり計画の推進(県交付金 決算額77,332千円) 平成20年末に制定した五木村振興推進条例に基づき、村と共同で「ふるさと五木村づくり計画」を策定。「働く場づくり」、「暮らしづくり」、「ひとづくり」を3つの柱とした振興策を毎年度実施計画として取りまとめ、広域的連携の下、村とともに推進している。 平成28年度は農林水産業の振興や観光・交流の促進など66事業に取り組んだ。 なお、県は同計画を推進するため、五木村振興基金(10億円)を活用した財政支援や人的支援(H28は村派遣2名、駐在2名、人事交流職員1名、球磨地域振興局専任職員1名の配置)を行った。 <b>【主な取組み】</b> ・アウトドアイベントの開催 ・村産材のブランド化に向けた取り組み ・「稼ぐ」むらづくり協議会の設立 ・特産品を素材とした新規加工品の開発	計画調査費のうち P138～P139

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(1) 川辺川ダム問題)			(2) 五木村の生活再建に向けた基盤整備事業の推進(県交付金 決算額325,638千円) 平成23年6月の国、県、村の三者合意に基づき、国の交付金制度のほか、県が表明した総額50億円の財政支援も活用し、平成24年度から村の生活再建に向けた基盤整備事業を実施した。 <b>【村が取り組んだ主な基盤整備の内容】</b> ・観光交流施設整備(歴史文化交流施設の整備、宮園地区大イチョウ周辺整備、水没予定地東部エリア(キャンプ場等)の造成着手) ・道路ネットワーク(村道折立線外8路線の改良等、林道八重線の開設) ・その他(飲料供給施設改修、林業センター改修設計) なお、県は、地元からの要望が特に強い国道445号の整備を引き続き実施した。	
(3) TPPへの対応	3,812	3,051	1 TPP対策意向調査等事業 県の施策に活用するため、国が決定した「総合的なTPP関連政策大綱」や「TPP協定の経済効果分析」の内容を踏まえ、TPP協定が発効した場合における県内企業等の対応検討状況等について調査を実施した。	計画調査費のうち P138～P139
6 その他 (7) 「熊本復旧・復興4カ年戦略」の策定・推進	49,758	45,744	1 政策調査事業及び新基本方針推進事業 (1) 熊本地震からの復旧・復興の方向性と、熊本の将来への展望を示した「平成28年熊本地震からの復旧・復興プラン」(平成28年8月策定)を基本に、全国に先駆けた取組みを進めてきた「熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成27年10月策定)を一本化し、県政運営の基本方針として、「熊本復旧・復興4カ年戦略」を平成28年12月に策定した。 (2) 戦略の効果的な周知・広報を展開するため、配付用冊子を作成し、戦略の周知を図った。 (3) 本県における地方創生の実現に向けて、産官学金労言などの関係者が広く課題等の認識共有を図りながら、将来への取組みを推進する、「幸せ実感くまもと『まち・ひと・しごと』づくり推進会議」の第4回会議を平成28年11月に開催した。 2 地域経済分析システム(RESAS)普及促進事業 RESAS等を活用した県内経済の分析のほか、RESASの活用方法に関する研修等を通じた市町村や民間事業者等への普及促進等を実施した。	計画調査費のうち P138～P139
(8) 政策評価と進行管理	1,703	1,187	1 県民幸福量向上事業 県民の「幸せ実感」を高めるために、しあわせ部公式アプリ「くまはぴ」を立ち上げ、身近にある幸せへの気づきを促す取組みを実施した。 2 県民アンケート調査事業	計画調査費のうち P138～P139

## (企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(8) 政策評価と進行管理)			<p>20歳以上の県民1,500人を対象に以下のアンケート調査を実施し、本県の施策立案等の参考とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民生活や県の取組みに関する意識調査（平成29年1月実施：回収率53.5%）</li> </ul>	
(9) 御所浦地域振興策の推進	<p>49,639</p> <p>61,377</p>	<p>44,343</p> <p>59,284</p>	<p>1 概要 離島というハンディキャップをできる限り解消し、島民が住み慣れた地域で夢と誇りに満ちた暮らしを実現できるよう、平成27年2月に取りまとめた振興策について、平成28年度も着実に推進。</p> <p>2 御所浦地域活性化推進事業（企画振興部）</p> <p>(1) 地域おこし協力隊の配置 地域活性化に取り組むリーダーとして、継続して1名配置。地域イベントの企画・運営や修学旅行の受入れ業務などに従事。</p> <p>(2) 移住・定住の促進 平成27年度に実施した空き家実態調査を踏まえ、活用可能な空き家を抽出・選定し、空き家物件改修補助（天草市への補助）や体験モニターツアー等を実施。</p> <p>(3) 地域通貨を活用した地域づくり 住民同士が支え合う仕組みを構築するため、地域通貨を活用した取組みを継続実施。依頼会員33名、サポート会員30名、加盟店16店舗が登録。ゴミ出しや掃除等545件の支援を実施。</p> <p>(4) 観光交流の促進 宿泊型マラソン大会（第2回島あじマラソン大会）を平成29年2月に開催し、関東や九州各県など島外から140名が参加。</p> <p>(5) 高速通信網の整備 高速通信網の幹線を整備し（天草市への補助）、平成29年4月から島内全世帯で高速通信網が利用可能な環境を整備。</p> <p>3 御所浦航路振興事業（企画振興部）</p> <p>(1) 定期航路運賃割引事業 御所浦地域の港を発着する定期船の旅客・車両運賃の割引を継続実施。平成28年度からは当地域住民以外まで対象を拡大し、旅客156,391人、車両38,147台が利用。</p> <p>(2) 御所浦航路利便性強化事業 御所浦～棚底航路 御所浦地域の通学生徒を対象に、海上タクシー利用料金の支援を継続実施。延べ624人が利用。</p>	<p>計画調査費のうち P138～P139</p> <p>計画調査費のうち P138～P139</p>

(企画振興部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(9) 御所浦地域振興策の推進)			<p>御所浦～水俣航路 海上タクシーの週3便から週4便への増便支援(天草市への補助)を継続実施。</p> <p>(3) 生活航路維持確保支援事業 御所浦地域の生活航路に対する運航支援(天草市への補助)を継続実施。</p> <p>4 施設通所等交通費支援事業(健康福祉部) 乳幼児健診の受診者、障がい者福祉施設への通所に要する交通費の無料化支援を継続実施。 26人(延べ815回)が利用。</p> <p>5 御所浦高校生通学支援事業(教育委員会事務局) 高校通学者に対する交通費の無料化支援(天草市への補助)を継続実施。22人が利用。</p> <p>6 求む!御所浦Dr.(健康福祉部) 御所浦内診療所に勤務する医師への研究手当及び交通費の助成を継続実施し、平日夜間も受診可能な環境を整備。</p> <p>7 御所浦医療施設整備事業(健康福祉部) 御所浦歯科診療所の施設改修工事に対する支援(天草市への補助)を継続実施。</p> <p>8 御所浦医療設備整備事業(健康福祉部) 御所浦診療所における設備整備(超音波画像診断装置等)並びに御所浦歯科診療所における設備整備(歯科用ユニット等)の購入支援(天草市への補助)を継続実施。</p>	<p>社会福祉総務費のうち P167</p> <p>教育指導費のうち P365～P366</p> <p>公衆衛生総務費のうち P194～P195</p> <p>公衆衛生総務費のうち P195</p>
	874	604		
	2,340	1,718		
	4,662	4,274		
	17,307	16,244		
	8,942	7,505		